

岩手県金融経済概況（2025年1月）

1. 概況

県内経済は、緩やかに持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は、減少している。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

2. 最終需要

公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

先行指標である公共工事請負金額（2025年1月）は、2ヵ月振りに前年を下回った（前年比▲40.3%）。

設備投資は、減少している。

2024年12月短観（岩手県）における2024年度の設備投資計画をみると、案件の一巡や慎重な需要見通し等から、製造業と非製造業がともに前年度を下回っており、全産業では前年度を▲20.2%下回っている。

個人消費は、緩やかに回復している。

百貨店売上高（全店舗ベース：2025年1月）は、5ヵ月連続で前年を下回った（前年比▲1.7%）。スーパー売上高（全店舗ベース：2025年1月）は、3ヵ月連続で前年を上回った（同+1.9%）。また、新車登録・届出台数（乗用車<含む軽>：2025年1月）は、4ヵ月振りに前年を上回った（同+11.6%）。

この間、サービス消費は、緩やかに増加している。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

新設住宅着工戸数（2024年12月）は、2ヵ月連続で前年を下回った（前年比▲1.0%）。内訳をみると、持家（同+8.3%）、分譲（同+63.0%）が前年を上回ったものの、貸家（同▲16.5%）が前年を下回った。

3. 生産動向

生産は、緩やかに持ち直している。

鉱工業生産指数（季節調整値：2024年12月）は、2ヵ月連続で前月を下回った（前月比▲2.8%）。主な業種の指数をみると、食料品等が上昇した一方、電子部品・デバイス、生産用機械等が低下した。

四半期の動きをみると、2024/10～12月は2期振りに上昇した（2024/4～6月：前期比+9.6%、7～9月：同▲5.4%、10～12月：同+4.6%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

有効求人倍率（季節調整値：2024年12月）は、1.17倍と、前月から上昇した（2024年11月：1.15倍）。

雇用者所得（県内合計値：2024年11月）は、常用雇用指数（前年比+0.8%）が前年を上回った一方、名目賃金指数（同▲4.9%）が前年を下回ったことから、11ヵ月振りに前年を下回った（同▲4.2%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2025年1月）は、引き続き前年を上回った（前年比+3.2%）。

6. 企業倒産

企業倒産（2025年1月）は、4件、負債総額602百万円となった（前年同月は3件、負債総額188百万円）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2024年12月）をみると、預金が前年を下回った一方、貸出が前年を上回った。貸出約定平均金利（2024年12月）は緩やかに上昇している。

以 上

お問い合わせ：
日本銀行盛岡事務所
019-624-3622

<ホームページ>

